

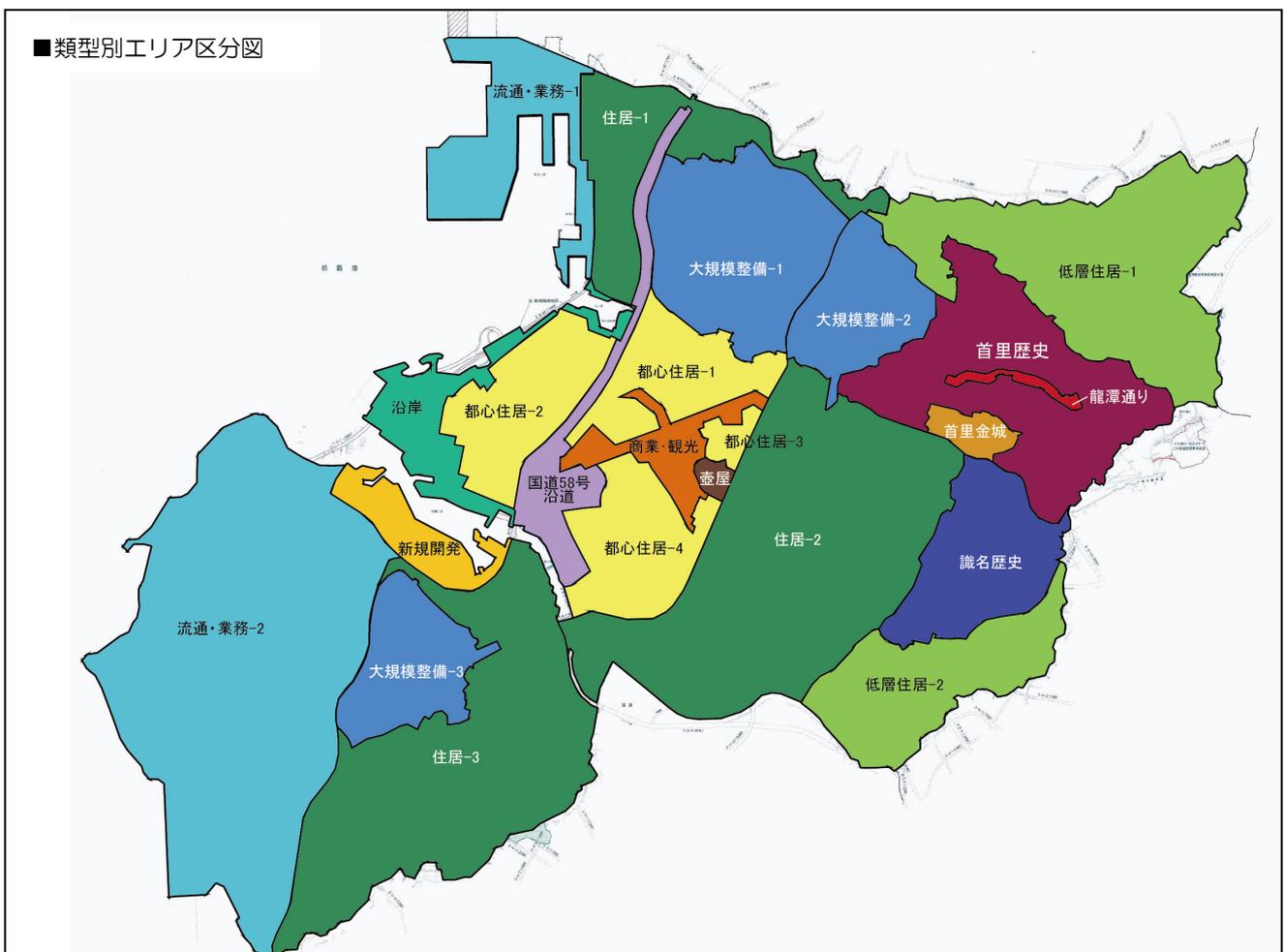
市域には、さまざまな景観要素・資源などがあり、またさまざまな土地利用がなされています。そのため、都市計画（用途等）になじむように類型別にエリアを区分します。景観エリアは、それぞれの区分の基盤を、土地利用・土地用途としながら、11のエリアに区分し、「首里金城重点地区」「龍潭通り重点地区」「壺屋重点地区」の3地区を重点地区として位置付けます。

次頁の図面で、建築物・工作物等の計画地を確認してください。

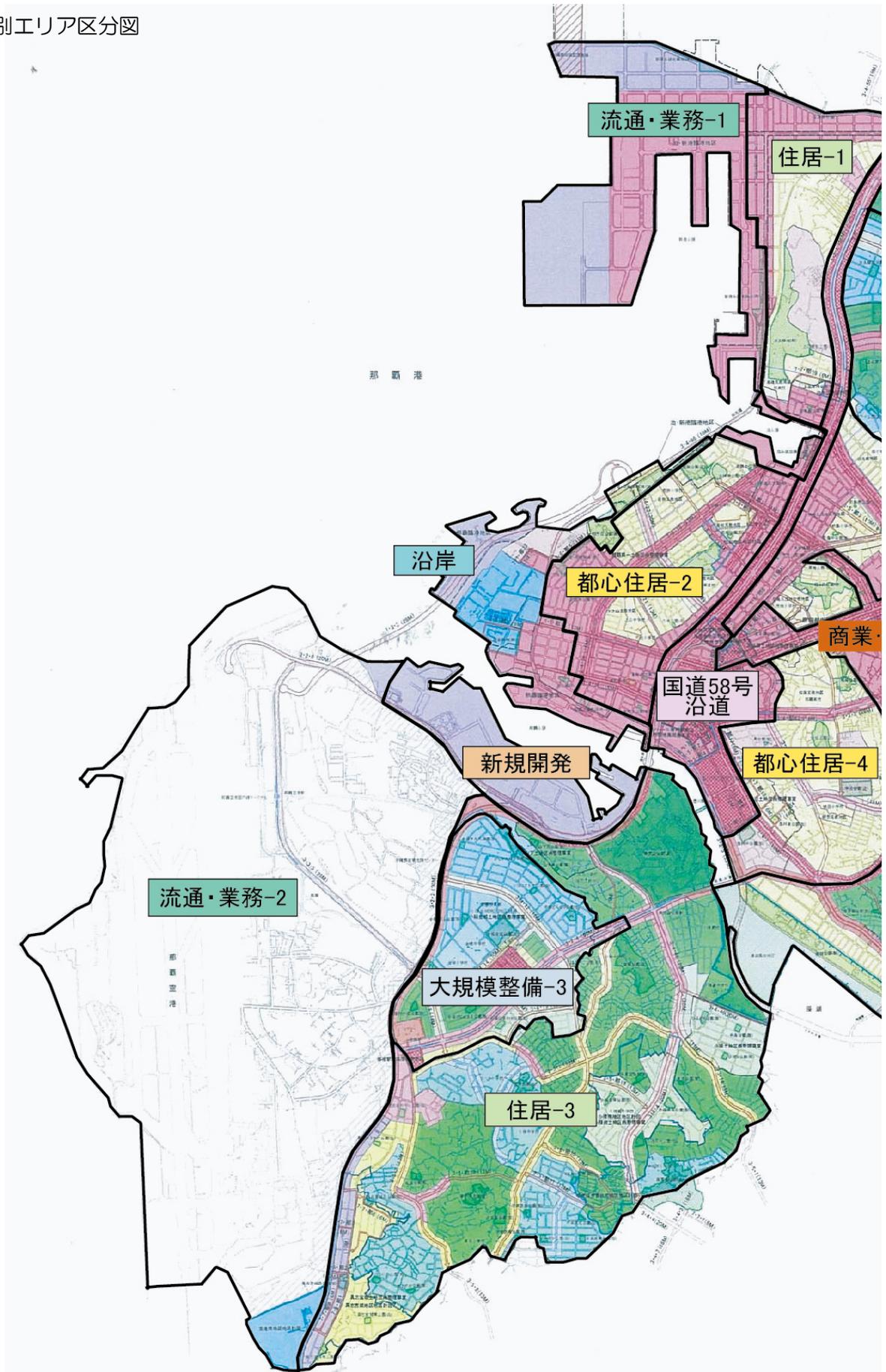
### 類型別景観エリア

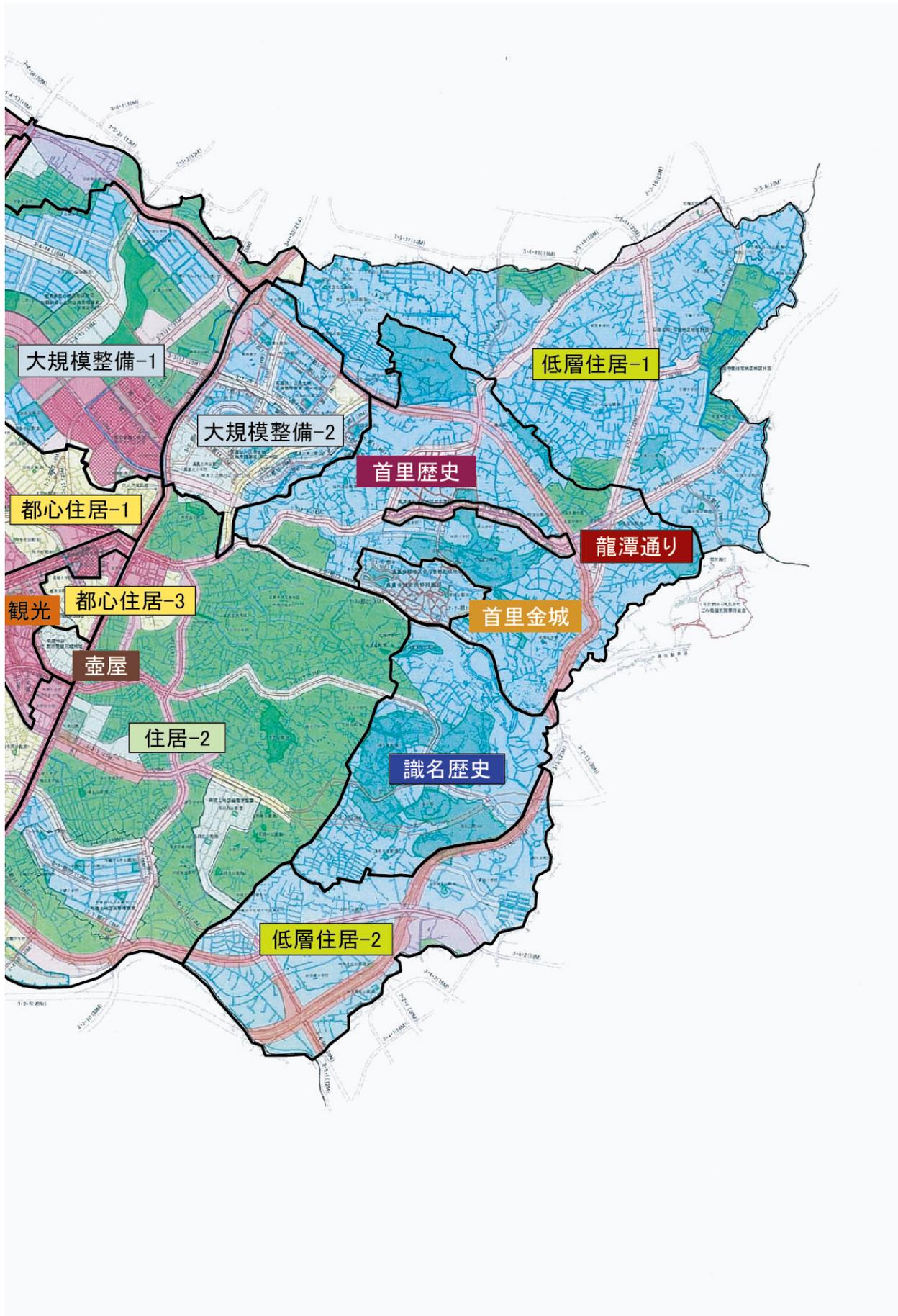
- 1 低層住居エリア
- 2 住居エリア
- 3 都心住居エリア
- 4 大規模整備エリア
- 5 国道58号沿道エリア
- 6 商業・観光エリア
- 7 沿岸エリア
- 8 流通・業務エリア
- 9 識名歴史エリア
- 10 首里歴史エリア

※新規開発エリアについては今回省略



■ 類型別エリア区分図





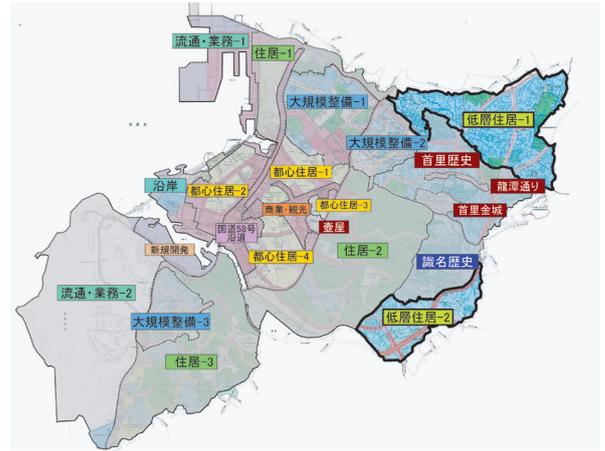
# 1. 低層住居エリア

## ■エリア区分

低層住居エリア1＝首里北

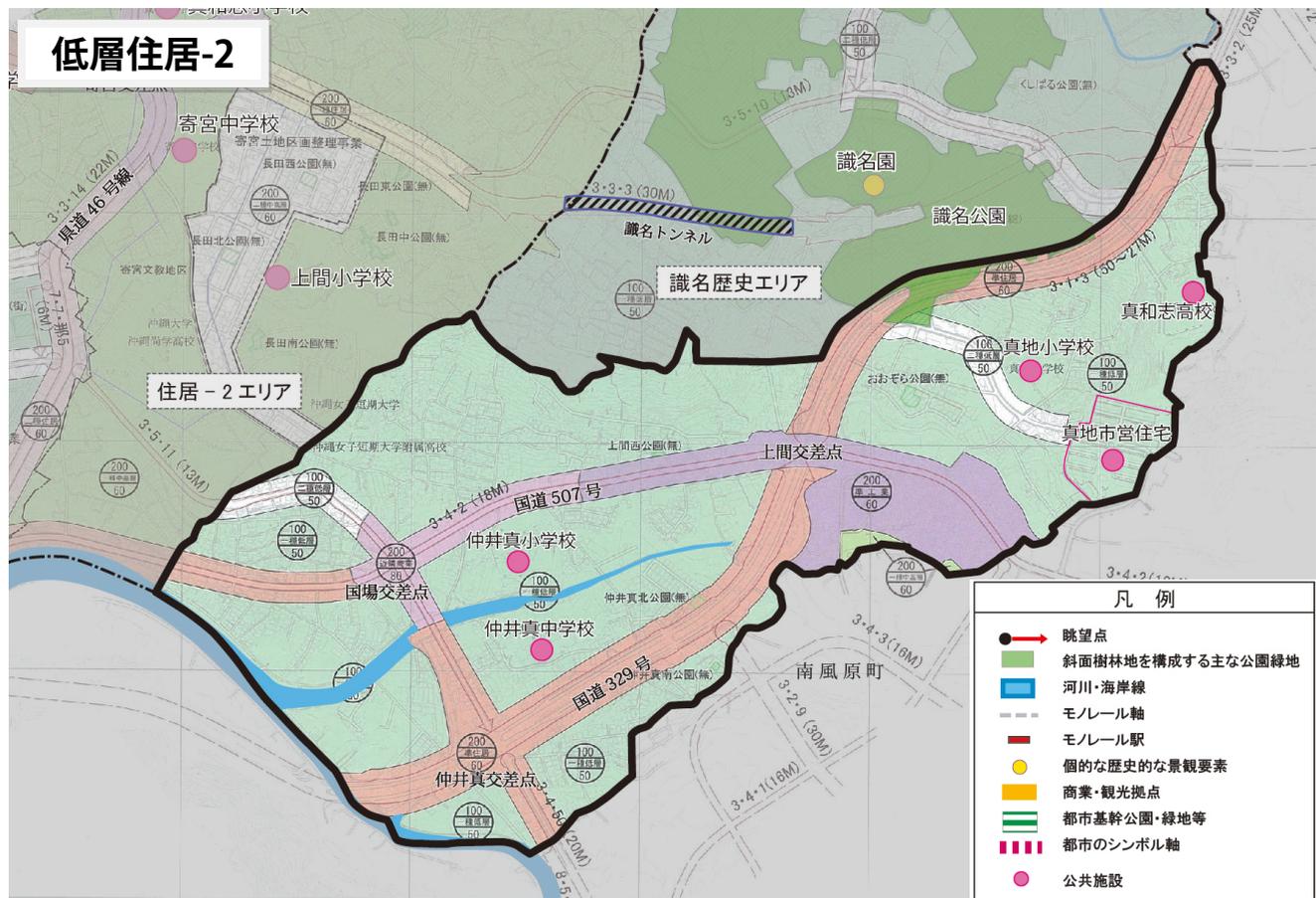
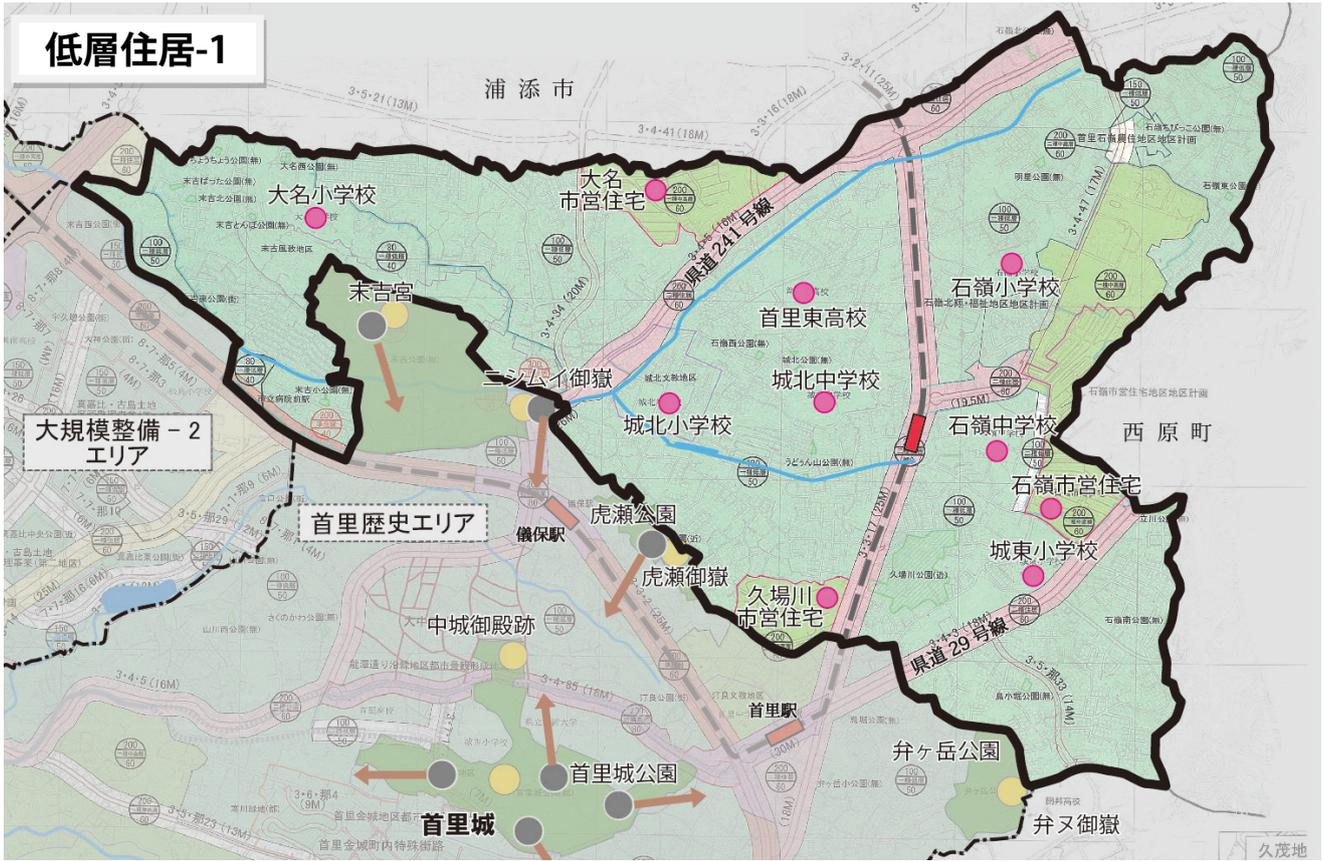
低層住居エリア2＝上間・仲井真・真地・国場

市域北東部の末吉や首里、識名一帯は概ね低層の住宅地景観が展開しています（主として第一種低層住居専用地域）。それらの個性ある景観をひとつのエリアとして区分します。



## ■骨格的景観要素図における位置図





＜景観整備の目標＞

- ・低層一戸建てを活かす広がりのある、緑豊かな住宅地景観の形成を目指します。
- ・旧集落の伝統的な景観資源の保全・修復・活用を目指します。

＜全体方針＞

- ①団地等の中高層の建物群と周辺の低層住宅との見せる景観が、一体的に調和する景観形成を図ります。
- ②風情のある「スーヅグワー」の活用によるコミュニティ道路を形成し、歩いて楽しく、変化のある景観形成を図ります。

＜個別方針＞

- ①末吉や国場の旧集落は、沖縄の典型的な集落街路構造をいかした人に優しい花・緑豊かな景観形成を図ります。また、伝統的な石垣などの保全・再生を図ります。
- ②中高層建築群を形成する場合は、そのスカイラインは低層住宅群のつくるスカイラインに緩やかに馴染ませるよう配慮する、または植栽によって強調ラインを緩衝<sup>\*</sup>します。



首里石嶺の御殿山



城北タウン